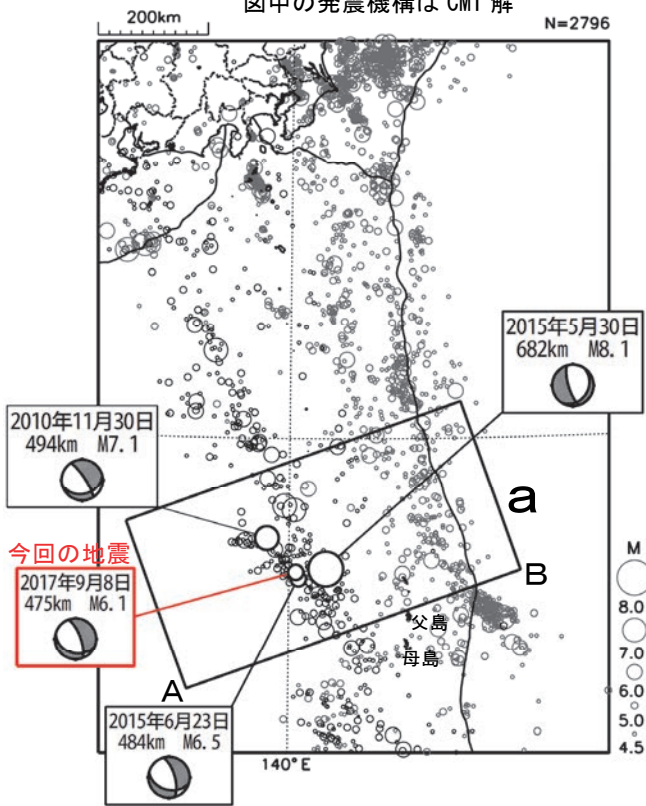


## 9月8日 小笠原諸島西方沖の地震

### 震央分布図

(1997年10月1日～2017年9月30日、  
深さ0～700km、 $M \geq 4.5$ )  
100kmより深い地震を濃く表示  
図中の発震機構はCMT解

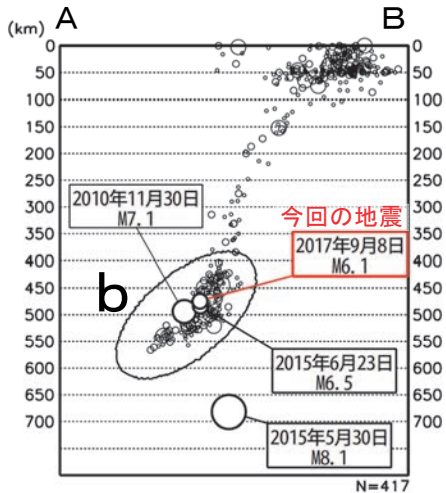


2017年9月8日02時26分に小笠原諸島西方沖の深さ475kmでM6.1の地震(最大震度3)が発生した。この地震により、東京都小笠原村母島で震度3を観測したほか、関東地方及び宮城県で震度1を観測した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、太平洋プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

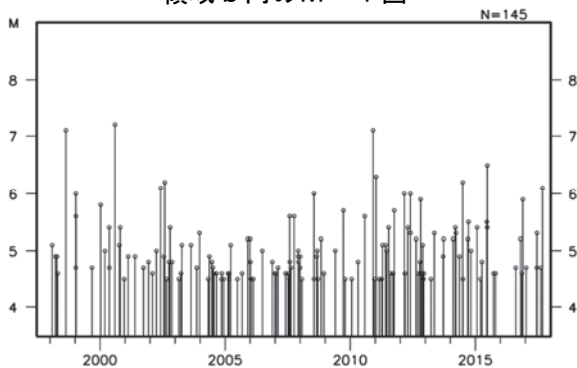
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M6.0以上の地震が時々発生している。また、今回の地震の震源から約200km深いところでは、2015年5月30日にM8.1の地震(最大震度5強)が発生し、東京都で負傷者3人、埼玉県で負傷者3人、神奈川県で負傷者2人等の被害が生じた(総務省消防庁による)。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が時々発生している。1984年3月6日にはM7.6の地震が発生し、死者1人、負傷者1人等の被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

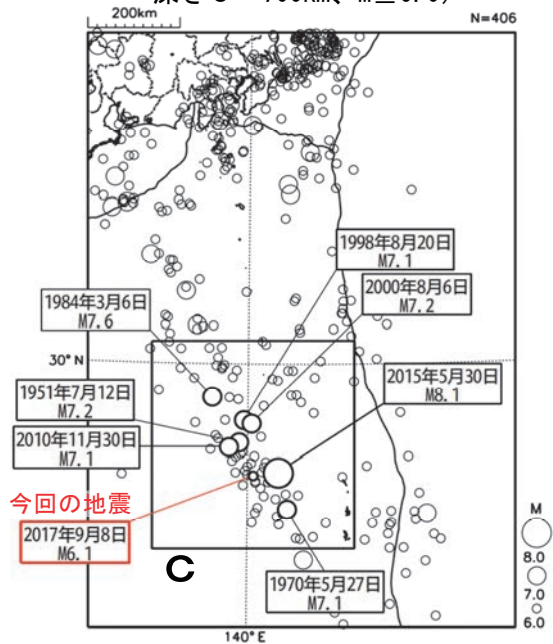
### 領域a内の断面図 (A-B投影)



### 領域b内のM-T図



### 震央分布図 (1923年1月1日～2017年9月30日、 深さ0～700km、 $M \geq 6.0$ )



### 領域c内のM-T図

